



だい しおいり  
大すき汐入

7月号

こころ えいよう  
心の栄養

ふくこうちょう まつもと まり  
副校長 松本 真理

「こんにちは。」「こんにちは。」

3月30日、前任の副校長先生に案内されて、町を歩いていた時のことです。校長先生と、汐入の子どもたちがあいさつをしました。

「〇〇は、どこにあるの。場所が分からなくて。」と校長先生が聞くと、3人の子どもたちは遊びに行くところだったのに「案内しますよ。」と、その場所まで私たちを連れて行ってくれました。(何と親切な子どもたちなのだろう。)と感激したことは忘れられません。



先日は、「先生、この子が、『歯が抜けそう。』と言って困っています。」と、職員室に2年生を連れて来た5年生がいました。汐入の子どもたちのこの「親切」は、地域や保護者の方々の行動が影響しているのではないかと考えました。6月3日のお祭りでは地域や保護者の方々が、人のために一生懸命作業をしていらっしやいました。週明けのさわやか清掃にもたくさんの方々が参加してくださいました。



「いつも通る1年生が帰ってこないのだけれど、大丈夫ですか。」と、下校の見守りをしてくださっている地域の方が、職員に声をかけてくださったこともありました。先週の家科学習でも地域や保護者の方々が来てくださって、子どもたちは安心して縫



い物に取り組むことができました。

着任して3か月で、すてきな人と人とのかかわりをたくさん見ることができました。そして、私の気づかないところでは、

そんな人とのかかわりがもっとたくさんあるのでしょう。2年生の子が、まち探検に行った時から交番のおまわりさん(正式な言い方ではなくて、子どもの言い方です)に親しみを感じているそうです。こうやって、子どもたちは心に栄養をもらいながら健康に成長していくのでしょう。こんなすてきな汐入小学校の仲間に入れていただけて嬉しいです。これからは私も子どもたちの心の成長のために尽力していきます。地域のみなさま、保護者のみなさま、引き続き温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。